

山口情報芸術センター [YCAM] ワークショップ

はじめての映画制作ワークショップ

2020年3月27日(金)～29日(日) 3日間通し
山口情報芸術センター [YCAM] 楽屋7・8

映画の魅力を再発見！

映画づくりから学ぶ、いつもと違う映画の捉え方

山口情報芸術センター [YCAM] では、中学・高校生を対象とした映画制作ワークショップ「はじめての映画制作ワークショップ」を開催します。

本ワークショップでは、講師として映画監督の瀬田なつきを招聘し、参加者は瀬田が用意したひとつの脚本をもとに3日間に渡って映画を制作していきます。監督、演出、撮影、演技、編集といった実際の映画制作でも必要な役割／作業を体験し、そしてワークショップを通じて生み出された映画を見比べることで、脚本の解釈や演出、演技の違いなどを発見することができます。

現代の中高生は、日常的にスマートフォンなどを通じて膨大な量の映像に触れています。そんな彼らが、第一線で活躍する映像作家と、映像に関する蓄積した知見をもつYCAMとともに映画制作をおこなう本ワークショップは、映像をつくるために必要な技術や、映像をより深く読み解く力を養う機会となるでしょう。完成した作品は、2020年夏に開催の「真夏の夜の星空上映会」にて一般向けにも上映予定です。この機会にぜひご参加ください。



映画監督・三宅唱が中高生とともに『ワイルドツアー』(2018)の撮影をする様子
(撮影：田邊アツシ)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

今日における映画の可能性を探求してきたYCAM



「映画を2回観る会」の様子

YCAMでは、来館者が映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、これまで幅広い年代の様々なジャンルの映画を上映してきました。また、YCAMに隣接する山口中央公園を利用して野外で映画を楽しむ「真夏の夜の星空上映会」やライブコンサート用の音響セットで映画を楽しむ「YCAM爆音映画祭」のようなYCAMの施設を活かした上映もおこなっています。

そうした映画作品の上映に従事すると同時に、鑑賞者自身が作品の魅力をより深く楽しむための鑑賞法を発見し、作品に対する批評的な視点を養うことができるように「映画を2回観る会」といった、観る側の創造性に着目したイベントも実施してきました。

近年では、映画制作にも注力し、YCAM内部に設置された研究開発チーム「YCAM InterLab」が、映像作家と協働して映画制作をおこなうプロジェクト「YCAM Film Factory」を展開。映画の制作方法から見つめ直し、これまでインスタレーション作品も含めた多様な形態で映画の可能性を模索し、実践してきました。本ワークショップでは、映画をはじめとするメディア・テクノロジーを用いた表現の可能性を探求してきたYCAMが、これまでに蓄積した映画に関する知見を、日常的に映像に接し、活用している中高生と共有することで、今日における映画・映像との向き合い方を講師の瀬田なつきとともに考えていきます。

■ YCAM Film Factory

既存の映画制作にとらわれない自由な発想をもつ映画監督と共同し、YCAMに蓄積された横断的な知見と総合させ、より自由な映画制作のあり方を模索するプロジェクト。

これまでに、柴田剛監督による長編映画『ギ・あいうえおス他山の石を以って己の玉を磨くべし』（2016）、映画制作集団・空族の『バンコクナイツ』を元に、マルチスクリーン・インスタレーションとして制作した、空族+スタジオ石+YCAM『潜行一千里』（YCAM委嘱作品/2016）、染谷将太監督による短編映画『ブランク』（2017）、そして三宅唱監督による、山口に住む中高生を俳優に起用した長編映画『ワイルドツアー』（2018）を制作/発表してきた。

映画づくりから作品比較までを体験する濃密な3日間



YCAM館内で撮影する様子
(撮影：田邊アツシ)

今回招聘する瀬田なつきは、劇場公開される映画作品も手がけつつ、インターネットを介してスマートフォン向けに配信するドラマ作品、ミュージックビデオ、CMなど様々な映像ジャンルを横断しながら活躍しています。2013年には、YCAMが企画制作した「架空の映画音楽の為の映像コンペティション」に、特別招聘作家として参加。山口市の中央部を流れる一の坂川周辺のショーウィンドウ、公共施設、公共空間などで、瀬田自身が監督した合計6本の短編作品を、映像インスタレーションとして展示しました。

このように既存の映画制作方法にとらわれず幅広い活動を続ける瀬田が、自身の経験を交えながら、新たな視点で映画を読み解くための方法を3日間に渡ってレクチャーします。

1日目に、瀬田によるレクチャーを受けた後、参加者はグループに分かれて、瀬田が用意した台本を読み込みます。書かれているシチュエーションや登場人物などの解釈についてそれぞれのグループで議論しながら、撮影の場所や役割を決めていきます。

2日目は、撮影のためのレクチャーの後、グループごとに分かれて、実際にYCAM館内やその周辺で撮影をおこないます。

最終日には、グループ内で話し合いながら、最終的な作品のイメージを詰め、撮影した映像素材を編集します。出来上がった作品をYCAM館内にあるスタジオCにて上映し、参加者全員で見比べます。同じ脚本からできた作品を比較することによって、それぞれの解釈の違いなどを学びます。

講師プロフィール

瀬田なつき (せた・なつき)

映画監督



大阪府生まれ。東京芸術大学大学院映像研究科修了。在学中、黒沢清・北野武教授のもと修了制作『彼方からの手紙』を監督。『嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん』（2011）で商業長編映画デビュー。主な監督作品に『5windows』series（2011-2015）、『PARKS パークス』（2017）、ドラマ『東京アリス』（2017）、『セトウツミ』（2017）、『声ガール』（2018）など。映画だけでなく、CM、MVなどの演出も手がけている。

架空の映画音楽の為の映像コンペティション

YCAM10周年記念祭の一環として開催された、まだ存在しない映画のために作曲された「映画音楽」に呼応する映像のコンペティション。国内外から寄せられた122作品の応募の中から、10周年記念祭アーティストック・ディレクターを務めた坂本龍一をはじめ、映画/映像の制作、評論、プロデュースの第一線で活躍する6名の審査員による厳正な審査を経て、受賞作品を決定。これらの受賞作を、YCAMにより招聘された3名の映画監督が、応募者と同様の条件で制作した新作映画3作品とともに山口市内のカフェギャラリーで上映した。

開催概要

はじめての映画制作ワークショップ

2020年3月27日(金)～29日(日) ※3日間通し
各日10:00～18:00
山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ集合
集合後、会場である楽屋7・8に移動します。

スケジュール

DAY1: 顔合わせ・本読み

DAY2: 撮影

DAY3: 編集・上映会

講師: 瀬田なつき

参加費: 1,500円 (要申込)

定員: 21人

対象: 中学生～高校生

※申込者多数の場合は、抽選をおこないます。

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団
後援: 山口市、山口市教育委員会
共同開発: YCAM InterLab
企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

関連上映

講師・瀬田なつき監督作品特別上映

2020年2月16日(日)
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオC

一般: 1,300円 any会員・25歳以下・特別割引: 800円
※『PARKS パークス』を観た方は『5windows』を500円でご鑑賞いただけます。

13:30 『PARKS パークス』(2017年/日本/118分/配給: boid)
橋本愛、永野芽郁、染谷将太が共演した青春音楽ドラマ。
井の頭公園と吉祥寺の街を舞台に、50年前に作られた曲に込められた恋人たちの記憶が、
現代に生きる3人の若者たちの夢につながっていく様子を描く。

16:00 『5windows』(2011年/日本/40分/配給: boid)
横浜黄金町を舞台に短編オムニバス。
夏のある日、横浜・黄金町に居合わせたリク、トモオ、ヨシクラ、ユキの4人の目線からそれぞれ描かれる4つの「ある日、14時50分」の物語が、ひとつの橋の上で小さく交錯する。
出演は中村ゆりか、斉藤陽一郎、長尾寧音、染谷将太。
<特別併映> 『5windows mountain mouth』(2013年/日本/8分)

■ 申込方法

- YCAM1階チケットインフォメーションにて直接申込
- 下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに記入

ウェブサイト:

www.ycam.jp

受付締切日: 2020年3月13日(金)